

令和4年度鳴門市部長実行宣言

| |
|-------|
| 環境共生部 |
| 西上 昭二 |

環境政策課・クリーンセンター管理課・クリーンセンター廃棄物対策課



| 視 点 (該当する視点を選択) | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 最重要課題 | <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジ |
| <input checked="" type="checkbox"/> SDGs取組推進 | |
| 宣 言 項 目 | |
| ごみの減量の推進 | |
| 現 状 | 課 題 |
| <p>ビン・PETを除き市が収集している家庭から排出されるごみ量は、漸減していますが、1人1日当たりの排出量は、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化などの影響により、平成29年度の487gを底に令和2年度には501gと増加傾向にあります。</p> | <p>ごみは、クリーンセンターまで収集車により運搬され、破碎や焼却処理の過程で、資源化できるものを回収したのち最終処分している。この過程で発生する温室効果ガスであるCO2の発生抑制や環境負荷の軽減、限りある資源の有効活用等のため、ごみの再資源化や減量が課題となっている。</p> |
| 令和4年度目標 | 目標達成及び課題解決に向けた具体的取組 |
| <p>ごみの減量には、発生抑制・減量・リサイクルの推進を進める必要があり、啓発やリサイクルを推進し、家庭から排出される、燃やせるごみ・燃やせないごみ・容器包装プラスチックごみの収集量を、1人1日当たり、令和2年度比で1%減量することを目標とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量の周知 TV広報（年4回以上）・広報紙（毎月掲載） ごみカレンダー（毎月） 生ごみの水切り・雑紙の分別回収（燃やせるごみから再資源化）の促進・食品ロスの削減・マイバックの利用 等 ・雑紙等の資源ごみ集団回収の促進 資源ごみ活動団体の支援策の検討・実施 |

令和4年度鳴門市部長実行宣言

| |
|-------|
| 環境共生部 |
| 西上 昭二 |

環境政策課・クリーンセンター管理課・クリーンセンター廃棄物対策課



| 視 点 (該当する視点を選択) | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 最重要課題 | <input type="checkbox"/> チャレンジ |
| <input checked="" type="checkbox"/> SDGs取組推進 | |
| 宣 言 項 目 | |
| ゼロカーボンシティに向けた取り組み | |
| 現 状 | 課 題 |
| 2021年度に国は中期目標として温室効果ガスを2030年度までに46%削減(2013年度比)することを目指し、50%の高みに向け挑戦を続ける新たな目標が示され、本市でも、地球温暖化対策に、さらに取り組まなければならない。 | 本市の地球温暖化対策実行計画(事務事業編)は、従前の国の目標2030年度26%減)をもとに策定した計画であり、見直す必要が生じているとともに、市域全体で脱炭素の取り組みを進めるため、区域施策編を策定する必要がある。また、2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みを進めるため、他の既存の計画との整合性を図る必要も生じている。 |
| 令和4年度目標 | 目標達成及び課題解決に向けた具体的取組 |
| 本市の自然的社会的条件に応じた温室効果ガス排出量の削減等のため、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)をR5年度中に策定することを目途に、R4年度は、計画策定の前提となる、市域内温室効果ガスの排出量の推計や削減につながる施策の調査等を行う。 また、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定に合わせて、既存の計画等の整合性を図るため、R4年度に、見直しを行う項目等の洗い出しや検討を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連する既存の計画の精査 なると環境プラン2004(環境基本計画)、環境プラン推進計画、地球温暖化対策実行計画(事務事業編) ・ 温室効果ガス排出量の推計や、国の動向、温室効果ガス削減施策事例の調査 等 |